

NHKBSプレミアム

「にっぽん縦断 ころ旅2015秋」 お便り募集



●放送日時(福岡県版) 11月2日(月)~同6日(金)
 ▽月~金曜日=7:45~7:59
 ▽火~金曜日=19:00~19:29

●内容 市内の忘れられない景色や、大切な人との出会いの場所など、「こころの風景」エピソードを募集

●申込締切日 9月28日(月)

●申込必要事項 ①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別
 ⑤電話番号 ⑥思い出の場所・風景
 ⑦場所にまつわるエピソード

●申込先 NHKふれあいセンター
 ▽ハガキ・封書=〒150-8001 NHK「こころ旅」係
 ▽FAX03(3465)1327
 ▽HPhttp://www.nhk.or.jp/kokorotabi/

■問い合わせ先
 ▽同センター ☎0570(066)066
 ▽商工観光課 ☎(36)0037

障害者雇用 促進面談会

●日時 10月28日(水)
 午後0時30分~同4時

●会場 福岡国際会議場
 (福岡市博多区石城町2・1)

●対象 就職を希望する障がいのある人

●参加料 無料

●持参品 履歴書

●その他、南部、筑豊、北九州に会場あり。詳細は問い合わせ先

■問い合わせ先 最寄りのハローワーク 宗像 市地域職業相談室
 ☎(36)1150

博多のびっこ幼稚園 入園説明会

●日時 10月3日(土)
 午前9時40分~

●場所 同園・多目的ホール

●定員 先着200人

●参加料 無料

●申込締切日 10月7日(水)

■申込・問い合わせ先 県新雇用開発課 障害者雇用係
 ☎092(643)3594

伝言板

●日時 10月3日(土)
 午前10時~午後2時

●会場 サンコスモ古賀

●内容 「障がい者雇用から見る日本で一番大切にしたい会社」/坂本光司さん(作家)

▽障がい者雇用の優良事業所などの表彰式

●定員 先着200人

●参加料 無料

●申込締切日 10月7日(水)

■申込・問い合わせ先 県新雇用開発課 障害者雇用係
 ☎092(643)3594

古賀市庄205 相談内容

●相談内容 相続、遺言書の作成、遺産分割、相続登記相談、悪質商法などの消費者問題、借金などの多重債務問題、訴訟、成年後見など

●定員 先着16人

●申込締切日 10月2日(金)

●その他 各種相談事業

●相談電話番号 ☎0570(783)544

▽電話相談(無料) 11月~金曜日の午後6時~同8時

▽司法書士の紹介 11月~金曜日の午前10時~午後4時

*祝日、年末年始は休み

*詳細は問い合わせ先

経営お悩み無料相談会

●日時 10月20日(火)
 午後1時~同5時

●会場 市商工会本所3階(東郷)

●相談内容 法律、人事労務、経理・会計、税金など

●相談員 弁護士、社会保険労務士、税理士、中小企業診断士、ライター、IT支援など

●定員 先着20人

●秘密厳守

*詳細は問い合わせ先

社労士による 無料相談会

●日時 10月17日(土)
 午前10時~午後4時

●場所 天神イムズ前広場 JR博多駅前広場

●内容 労働問題、年金、社会保険、人事労務など

*事前申込不要

■問い合わせ先 福岡県社会保険労務士会福岡四支部合同事務局
 ☎092(414)8805

赤間祇園祭に赤馬館が初参加

疫病退散や家内安全を守る、赤間の鎮守神「須賀神社」の祇園祭が、7月18日、同19日に開催されました。

19日の夜は街道の駅赤馬館も臨時開館。神輿(みこし)を一目見ようと訪れた町の人や、写真に納めようと訪れた写真愛好家、夏休み中の大学生や浴衣姿が愛らしい小学生が祭りを楽しむ合間に、買い物や見学に多くの人が訪れました。

赤馬館は、11月で開館から1年を迎えます。今年も、展示や喫茶コーナー、商品のラインアップ、イベントなどを充実させ、より多くの人に利用していただき、ぜひ来てください。

【赤馬館・中井真理子さんの声】

「赤馬館(みこし)と樂(がく)、祝い目出た、打ち込みと突っ込み、触れ太鼓、お汐井汲みなどの祭り独自の表現は、初めての夏を迎える赤馬館にとって、わくわくするものでした。多くの人と伝統行事を共に楽し

赤間祇園祭に赤馬館が初参加

むことができ、あの頃も赤間宿は同じようににぎわっていたのかな...と幕末へ遠く思いを寄せ、過ぎゆく夏を惜しんでいます。

■問い合わせ先 街道の駅 赤馬館
 ☎(35)4128

赤間祇園祭に赤馬館が初参加

多くの人で祭りを盛り上げました

松本市からのお客さま 真夏の海でおもてなし

冬に長野県松本市を訪れ、雪国体験交流をした宗像・福津市の小学5、6年生19人の使節団。今回は、8月5日~同7日に松本市訪問団を迎え、真夏の海洋体験で交流を深めました。

初日は、郷土学習として宮地嶽神社や宗像大社を見学。高宮祭場を訪れた団員たちは、社殿のない祭場の説明を受け、古代に思いをはせていました。交流会では、互いの市のクイズを出し合ったり、歌を歌ったりと交流を深め、すっかり打ち解けた団員たち。ベッドに入っても話が尽きないようでした。

2日目は、大島うみんぐで海洋体験。タイヤズを釣り上げては歓声があがり、「重かった」「大きいでしょ」と自慢し合っていました。シーカヤックは息を合わせてオールをこぎ、体験を通じた交流ができました。歓迎レセプションでは、終始笑顔があふれ、高橋勇次団長(市教育子ども部長)の「10年後みんなが大人になったら、同窓会をやってね」との言葉に、「5年後! いや、毎年!」と団員たち。3日間で旧知の友のようになり、最終日は「帰ったら電話するね」「手紙を書くね」と別れを惜しみつつ、バスを見送りました。

2年間の交流事業の中で、団員同士の絆は深まり、生きた都市間交流ができました。同窓会の開催が今から楽しみです。

■問い合わせ先 教育政策課 ☎(36)5099



やっとの思いで釣り上げて、喜びもひとしお



多くの人で祭りを盛り上げました